

UP! Uozumi-higashi Press

魚住東中トリプルD < Dream, Design and Do it >

2017.3.24(金) 第15号

修了を節目に

1, 2年生のみなさん、今日でみなさんはそれぞれの学年を「修了」しました。

「修了」には、その学年において「学ばなければならないことを、身に付け、学び終える」という意味があります。

みなさんは植物の竹を知っていますね。竹はすごい速さで大きく成長することで知られていますが、高く成長しても倒れないという竹の強さの秘密は節にあります。人間にとっても、今日の修了式などで一つのことに区切りをつけるというのは大切なことで、そのことによって、竹の節目のように人間としての成長を実感でき、強さが養われるものだと思います。

1年足らず前、1年生のみなさんは緊張の面持ちで東中に入學してきました。二つの小学校から集まってきた大きな集団や、小学校とは違う教科担任制などの中学校の教育活動のシステムなどに戸惑いもあったと思います。小学校では最高学年としてやっていたのに、いきなり下級生になってしまい、大人のような先輩に圧倒された思いもあったことでしょう。しかし、今のみなさんは集団行動訓練や様々な行事、また部活動などを通して、大きく成長しています。学年通信『日々前進』に載った「3年生を送る会を終えて」の作文を読むと、みなさんの成長ぶりや、向上心の高さ、そして伝統を守っていこうという意気込みを感じます。

2年生は卒業した3年生を見習い、先輩に教えを受けながらも様々な活動で力量を発揮し、活躍をしてくれました。部活動や委員会活動で1年生のよき模範、時には優しい相談相手になってくれた人もいます。トライやる・ウィークでは挨拶や時間を守ることの大切さを学んだり、働くことの大変さと共に充実感を味わったりしながら、これからの自分の将来の“Dream”を考え、その実現に向けて“Design”し、“Do it”しているところではないかと思います。3学期からは生徒会活動でリーダーシップを発揮するなど、東中の屋台骨を支えていく準備は整ってきました。

しかし、課題がなかったというわけではありません。生活指導の課題もいくつかありました。心ない言葉などで傷ついた人も残念ながありました。みなさん一人一人にもそれぞれの課題が残されたはずです。

みなさん全員が、今日を節目として、この一年間の自分の成長を振り返り、良いところはさらに伸ばし、課題については謙虚に反省し、自分という人間をより磨いていきましょう。

短い春休みですが、みなさんは学年が一つ上がり、それぞれが2年生、3年生になります。4月10日には新入生が入学します。この春休みは交通事故や病気などに気をつけて、4月7日に元気な姿を見せてください。

